



東京都立八王子特別支援学校

特別支援教育だより

<http://www.hachioji-sh.metro.tokyo.jp/>



令和5年度

第3号

令和6年3月1日発行

校長 野口 幹人

●副籍交流について

今年度も副籍交流への御理解・御協力をありがとうございました。今年度は新型コロナウイルスが5類へ移行となり、コロナ禍前とほとんど変わらない状態で交流を行うことができました。コロナ禍も落ち着いてきたところで、直接交流へ挑戦するケースもありました。慣れない場所へ行くのは、子供だけでなく保護者の皆様も、とても不安だったと思いますが、地域の子供たち・先生方の温かい迎え入れに安心したことと思います。お子さんの様子、各御家庭の都合はそれぞれですので、無理なく地域との繋がりをもっていただけると幸いです。

さて、今年度の交流内容や、保護者の皆様の感想を御紹介させていただきます。来年度の交流の参考になさってください

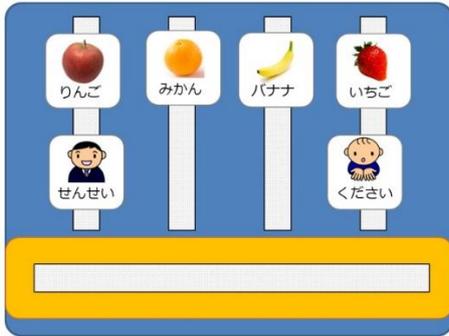
教科 内容	保護者の感想(一部抜粋)
朝の会 学級活動 (お楽しみ会)	〇〇のためにたくさん考えて迎えてくれたのが分かり、とっても嬉しかったです。黒板の歓迎メッセージも、お楽しみ会のゲーム内容も大好きなアンパンマンを取り入れてくれて、驚くほど落ち着いて、良い子で過ごしました。それは男の子たちが「〇〇くんこっちだよ！」「この席座ってね」と分かりやすく付き合ってくれたこと、参加しやすいゲームでもてなしてくれたことが全てと思っています。
音楽	事前に楽譜をいただきありがとうございました。おかげさまでなじみのある曲として、太鼓や手拍子を楽しむことができました。今回はお友達同士の会話の中に、〇〇の体の発育や発語の遅れに触れつつ、でも「それが特性なんだ」というような内容の発言がありました。皆それぞれが解釈、理解しているようで、そこにはお家の方や先生等に聞いたことも含まれているのかなと思うと、ありがたく、交流の意義を感じました。
おたより交換	小学校側もはじめての副籍交流と聞いていたので少し心配でしたが、クラスのお子さんたちがお手紙を書いてくれていて、仲間として迎えてくれたのを感じられました。



図画工作や体育、給食の時間に交流を行っている人もいます！小学部低学年では図画工作や音楽、年齢が上がってくると、体育や行事を希望して交流を行っていることが多いです。

●本校の取組みの御紹介(コミュニケーションブック)

本校では、言葉を育む支援として、絵カードを使ったコミュニケーションにも取り組んでいます。理解できない・伝わらないことで、パニックや自傷、他害、学習性無気力につながってしまうこともあります。伝えるための手段の確立のため、より正確に伝えられるため、繰り返し指導しています。しかし手段だけではコミュニケーションは成立しません。「伝えたい」と思える場面の設定や、関係性を作っていくことも大切にしています。



●東京都立八王子特別支援学校は特別支援教育の「センター校」です！

東京都立八王子特別支援学校(以下、本校)は、八王子市(北部地域・中央地域・東南部地域)における特別支援教育のセンター校です。

八王子市における特別支援教育の推進に向け、様々な取組みを行っています。

障害の特性に応じた支援の在り方など、相談したい事柄がありましたら、特別支援教育コーディネーターまで御連絡下さい。(042-621-5500)

● 特別支援学校のセンター的機能とは

特別支援学校が担うセンター的機能には、次のようなものがあります。



小・中学校等の教員への支援機能



福祉、医療、労働などの関係機関等との連絡・調整機能



特別支援教育等に関する相談・情報提供機能



小・中学校等の教員に対する研修協力機能



障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能



障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供機能



(問合せ先)

東京都立八王子特別支援学校
電話 042-621-5500
東京都八王子市台町3-5-1

副校長 添田 和久
支援部主幹 小松奈緒美
特別支援教育コーディネーター 内田 璃沙